



2011～2012年度 ROTARY CLUB OF TOYOKAWA HOI CLUB WEEKLY

やらまいか

例会日/毎週火曜日 12:30 例会場/豊川商工会議所 会長/山城康司 幹事/滝下 勲 会報委員長/土井昌司
事務局/豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889 HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

クラブテーマ：心と身体を健康に

本年度第40回 通算1248回 平成24年5月8日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	4/17 修正出席率
		56名	34名	69.4%	100%

ゲスト：三河淡水生物ネットワーク 浅香智也さん ビジター：(なし)

★会長あいさつ

山城康司会長



こんにちは。行楽シーズンになりました。来週は、当クラブの春の行楽で、大勢の皆さんにご参加を頂きありがとうございます。

環境保護活動家として初めてノーベル平和賞を受賞した故ハンガリーマータイ女史は、かつて国際会議の場で日本語の「もったいない」を環境保全の合言葉として提唱したことが世界的に大きな反響を呼びました。「もったいない」には、自然や物に対する敬意と愛が込められており、日本語以外の言語には該当しない言葉だとしてマータイ女史は注目したと言います。「いただきます」「ごちそうさま」という言葉も他の言語では表現しにくいと言われます。こうした言葉に多くの命によって人が生かされているという日本人独特の価値観が表れているのです。世界から日本語が注目される事実は、非常に光栄なことです。一方で私たちは、普段そのような意識を持って生活をしているのでしょうか。当たり前のように食事を残し、電気や水などのエネルギーを浪費していないのでしょうか。日本人の美德である「もったいない」精神を見つめなおし、謙虚な気持ちで今日一日を過ごしたいです。

★幹事報告

滝下 勲幹事

次回例会について
例会の臨時変更のお知らせ

★委員会報告

親睦委員会(樺山修一委員長)

5月13～14日の春の行楽について

★環境保全委員会担当例会

委員長あいさつ

土井昌司委員長



こんにちは。5月30日～6月5日は環境保全週間ですので、今日の例会と5月29日の例会に外部講師をお招きしまして、環境保全や生態系などについての情報発信をしたいと思っております。

今、この地球上に生物の種が約3000万種いると言われていています。毎年、4万種の生き物が亡くなっています。これを単純に割ると、75年過ぎると、ほぼ地球上から生物がなくなるという状況です。

今日は、その種を守るためにどのような活動をしたら良いかという本当の種の保存の活動を皆さんにご紹介したいと思います。三河淡水生物ネットワークの浅香先生をお招きしました。ご静聴よろしくお願ひします。

卓話 三河淡水生物ネットワーク



浅香智也氏

こんにちは。今日は皆さんに自然のことを少しでも分かっていたいただける機会を頂きましてありがとうございます。

東三河を流れる1級河川の豊川の魚について説明します。淡水魚は、純淡水魚、通し回遊魚、周縁性淡

水魚に分けられます。豊川に住む魚は 140 種類ぐらいいます。純淡水魚が 50%、通し回遊魚が 18%、周縁性淡水魚が 28%、あとどこにも属さない人工種の魚が 4%ほどいます。その種を普通、希少、移入種に分けると普通種のオイカワ、ドジョウなどが 48%、希少種のヤマナゴやメダカが 18%、外来種のブラックバスやブルーギル、コイ、キンギョが 34%います。コイは日本の魚だと思われていると思いますが、三河で見られるコイは外来種のコイになります。キンギョも実は中国からやってきた外来種になります。

東三河のレットデータリストとして豊川水系では 24 種います。水生生物の減少の要因は、大きく分けて、河川改修などの生息場の变化、水質悪化、外来種、不法放流や乱獲などの人の活動、生物自体の問題等あります。豊川水系の外来種の産地は、琵琶湖が 26%、琵琶湖以外の日本が 22%、ほか北アメリカ、南アメリカ、中国、ヨーロッパ、アフリカなど世界各国です。外来種の経路は、一つは、意図的な行為による移入です。水産資源としての事業放流や試験放流、イベント放流、ゲリラ放流、家庭飼育魚の投棄などです。もう一つの人為的かつ意図的でない移入は、放流に伴う混入、増水による養殖場からの逸脱、他水系からの導入路を通じての移入があります。是非、ご家庭で飼っている魚は放流しないで頂きたいと思います。コイについて一言。コイが在来種として、あっちこちで放流されてきました。佐奈川にもコイの放流がされています。実は、コイを放流すると水草とかを全部食べてしまいます。ブラックバスよりも質が悪いです。在来種とされていましたが、最近では外来種ということになっています。DNA で調べても現在、愛知のコイは、外来種です。知らない間に、自分たちで放流したコイによって、日本のコイが絶滅する事態となっています。

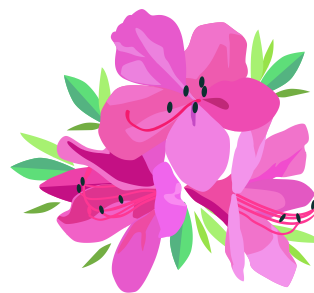
次に、ミシシippアカミミガメの分布拡大が児童の潜在意識に定着している可能性について話をします。皆さん、亀の甲羅が緑色だと思っている方が多くいると思います。ミシシippアカミミガメは、外来種で、現在、豊川や豊橋には普通にいます。この亀が増えていることだけでなく、非常に困ったことになっています。それは、子どもたちの意識の中に入り込んでいることが困っています。元々日本にいる亀は、甲羅が茶色のニホンイ

シガメ、江戸時代に日本に入って来たクサガメ、沖縄にいるリュウキュウヤマガメがいます。子どもたちを集めて、亀の絵に塗り絵をしてもらったら、殆どの子どもたちが甲羅を緑色に塗ります。手足も緑色に塗る子が殆どでした。外来種がいつの間にか子どもたちの頭の中に刷り込まれていて普通となってしまうのが現状で、非常に怖いことだと思います。

皆さんのイメージする自然は、小川に魚が泳いでいる感じだと思いますが、今の子どもたちは、普通にブラックバスが泳ぎ、外来種の亀がいるということが現状です。皆さんにも、この現状を知って頂き、今後何らかの対策を考えて頂ければと思います。ご静聴ありがとうございました。

★ニコニコボックス

- 土井昌司会員 本日の例会を担当します
- 笠原盛泰会員 豊橋 RC で卓話しました
- 伊藤正幸会員 誕生日を祝って頂き
- 波多野四郎会員 //
- 小田伊佐浩会員 //
- 柴田 勝会員 いろいろ祝って頂き
- 山田久就会員 //
- 水野太一会員 事業所創業を祝って頂き
- 度会尚志会員 入会記念日を祝って頂き



クラブ目標：会員増強純増 2名
 クラブ目標：R財団寄付額 \$100/人
 現在の状況
 会員増強・・・・・・・・・・純増1名
 R財団寄付額・・・・・・・・・・\$88/人

会報担当者：土井昌司会員、来山健一会員
 このウィークリーは再生紙を使用しています。